



日頃からの規律正しい訓練成果を発揮した 1月8日消防出初式(若宮堰ふれあい公園)

あなたと議会の情報ネットワーク

# あおぞら21

イノシシ駆除、1頭2,500円 .....	2
まち交事業に県も応援 .....	3
若者の婚活や定住促進支援策は(一般質問) .....	4
御船町を見てますか .....	8

12月定例会  
24年1月31日  
No. 60  
熊本・みふね町議会

# 12月定例議会 補正予算の質疑は広範囲

12月議会を12月8日から12日までの5日間開催した。平成23年度御船町一般会計補正予算並びに特別会計補正予算の審議と採決があった。陳情について各委員会で審議後、報告となり採択された。2名の議員から一般質問があった。

## イノシシ駆除、1頭2,500円 個人には支払わない

**清水議員** 町づくり大会の講師料の補正の内訳は。

**竹下総務課長** 講師謝金として1名の講師に費用弁償が14万8千円と謝金5万円が追加。

**清水議員** いつ頃の開催で、誰を呼ぶのか。

**竹下課長** 来年2月26日開催、ニセコ町長を呼ぶ。

**沖議員** 川まちづくり事業の変更計画策定委託料の41万円は。

**山本町長** 当時の予算は1億数千円だったが、事業仕分けで数千万に減額された。しかし、若宮堰から今城のメロディー橋までの計画を再申請し、3億円まで増額した。主体が御船町なので変更策定料だ。

**福永議員** コピー用紙代45万1千円の増額は。

**竹下課長** 各種研修会・住民説明会の配付資料が増加。

**吉村議員** イノシシ駆除は9月議会で一頭につき2,500円支払うと答弁された。支払いはどうか。

**藤岡経済振興課長** 町は猟友会に駆除依頼して

いる。団体に支払う。9月議会答弁は訂正し、お詫びする。個人には払わない。

**井本議員** イノシシの駆除期間は3月15日～11月14日まで。特別な罟も合計数に入るか。猟友会(1班～3班)の捕獲数はどうか。

**藤岡課長** 11月14日までに184頭(1班:62・2班:66・3班:56)駆除。自衛隊の捕獲数は入れない。

**吉村議員** 町道北園有水線家屋移転補償算定委託料と移転補償が、それぞれマイナス60万円とマイナス100万円である理由は。

**松岡建設課長** 家屋調査する前に自主的に移転され、算定不要になりマイナスされた。

**永山議員** 八勢目鑑橋トイレ新設に伴う増額の消耗品3万円は何か。

**藤岡課長** 掃除用品でトイレトーパーや洗剤など。

**佐藤議員** 企業立地促進補助金はどこの会社か。

**野口企画財政課長** 大福物流の誘致に1,000万円の補助金。それ以外に九州食糧が入る予定。

**田端議員** (株)エイシンの雇用で2名退職してマイ

ナス60万円に。

**野口課長** 10名の雇用を計画していたが、最終的には町内在住者が2名途中退職した。

**池田議員** 御船町自治基本条例の現状は。

**山本町長** 住民の力を活かす為に詰めの作業中。来年2月26日にシンポジウムを開催。議会側の意見を聞きたい。

**田端議員** 御船小学校配膳室工事の約2,060万円は。

**米満学校教育課長** 文科省の基準に従い建築する。

**沖議員** 環境保全型農業直接支払い交付金事業の40万は何か。

**藤岡課長** 有機農業へ取り組み。

**池田議員** 人材育成事業補助金の30万円の支払先は。

**野口課長** 小坂ジュニアソフトボールクラブの全国大会、城山少年クラブの九州大会、ロアッソジュニアなど全体で9件。チームが対象ではない。町外でも御船町の出身者がメンバーなら補助する。

## 陳情結果

### ◆未整備排水路の整備

みどりネットで整備を **不採択**

吉村産業建設常任委員長

陳情第4号、木倉地区の未整備排水路の整備に関する陳情を産業建設委員会の審査の結果、不採択とすべきものと決した。

23年12月8日委員会審査を行った。審査ではこれまでの御船中央土地改良区との協議内容の説明を求めた。また委員から「23年11月に御船中央土地改良区で水路の整備をした場所はどこか」、「23年度より農地、水管理支払い交付金事業により、御船みどりネット環境保全会の組織を立ち上げられ、農業用施設整備計画がある水路の整備も保全会で行うのか」等の意見があった。

今後も「御船みどりネット環境保全会」で事業整備を予定されているため、全会一致で不採択とすべきものと決した。

本会議でも産業建設常任委員長の報告通り不採択とした。

### ◆TPP交渉参加反対の陳情

反対の意見書を提出 **採択**

吉村産業建設常任委員長

陳情第8号、TPP交渉参加反対に関する意見書提出の緊急要請を産業建設常任委員会での調査の結果、採択すべきものと決した。

23年12月8日、委員会審査を行った。JA中央会農政広報部長から今回のTPP交渉参加に反対する要旨と理由の説明をうけ、審査を行った。

「TPPの反対は農業だけの利益が映るため、メリットやデメリットの説明を行ったほうがTPP反対へのイメージがかわるので」、「農業委員会もTPP反対の要望書を提出している」等の意見があった。

結果、TPP交渉参加に反対する意見書提出の緊急要請は全会一致で採択すべきものと決した。

本会議でも産業建設常任委員長の報告通り採択とした。

### ◆上野保育園バス配備

陳情者側から7名参加 **採択**

佐藤民生文教常任委員長

陳情第9号、上野保育園バス配備の陳情を審査の結果、採択すべきものと決した。

23年12月8日、委員会審査を行った。陳情者側から「若者定住に送迎バスが必要」などの説明を受けた。また福祉課から19年度から送迎バスが廃止となった経過や園児数の推移などの説明を受けた。

委員から「バスを走らせればどのくらいの利用者がいるか」や「上野保育園全体の要望か」、「実態調査を早く」などの意見が出た。

結果、全会一致で採択すべきものと決した。

本会議でも民生文教常任委員長の報告通り採択とした。





# Q 若者の婚活や定住促進支援策は

## A 平成24年度から検討

塚本 勝紀 議員

**塚本議員** 平成23年3月御船町次世代育成支援後期行動計画、はばたけ御船っ子プランが作成された。その中には、『本町の人口は減少傾向で推移し、少子高齢化への加速また出生数も減少傾向を辿る事が予想される。人口の減少傾向に反し世帯数は増加傾向にある。これは1世帯当たりの人数が少なく核家族化や高齢者の一人暮らしの増加が懸念される』とある。実際この事は町営住宅に顕著に現れている。中原団地では子供の声も聞こえているが、他の住宅は殆ど高齢者の1人か2人暮らしが多く、少子高齢化への加速は確実に進んでいる。私は若年者定住促進対策の必要を強く感じる。子育てへの支援策は、子供医療費助成事業や子育てサポート事業等が行われているが、人口を増加させる為の具体策がないように見受ける。5、6年前に長野県下條村に研修に行った。マンション風住宅建設を平成9年から1棟12戸、家賃が3万5千円前後、今年10棟目が建設された。ここは飯田市迄30分圏内で利便性が良くベッドタウン化している。わが町も熊本市内まで30分以内で行ける。下條村と違い平坦地が多く条件が良い。地域の活性化を図る為にも、町長は若年者定住促進対策についてどのように考えているのか？また、若者の婚活事業や定住支援についての具体策は考えておられるのか質問する。

**山本町長** わが町に関する国勢調査において、平成17年の18,116人に対して22年は17,888人と減少、世帯数については逆に6,015世帯から6,224世帯と増加している。今後は人口減少に如何に歯どめをかけるか政策的な焦点になると思う。

定住促進の対策は、広義に考えるなら雇用の確保であり、道路や住環境・子育て環境などさまざまなインフラの整備が大きく関係してくると考えられる。いろいろな角度からの検討を要すると思う。

### 若年者定住促進対策や町営住宅新築は

**塚本議員** 若年者定住促進対策の考え方として、町営住宅についてであるが「家賃が少し高くても改築して欲しい」や「家賃が安いからガマンせんと仕方がない」と言う話も聞くが、この声についてはどう考えるか。

また、50年、60年近くたった町営住宅がある事は問題であり、維持管理費はどの位か、地震等の安全対策は万全か。町営であるからこそ町民は、安心と安全が保たれると信頼すると思うが町長の考えは。



築50～60年たつ町営住宅

**山本町長** 町営住宅を若年者定住支援という新たな視点で考える事は重要なことであるが維持管理については建物の劣化状況を適切に把握し、状況に応じた計画的な修繕を行う事により、予防的な維持管理に努めている。

**塚本議員** 毎年か又は2年に1箇所でも建て替えが必要と考えるが町長の考えは。

**山本町長** 住宅施策の方向性を見定めると同時に、町営住宅の現状を把握・整理した上で、建替や改善の方向性を選択して、町営住宅の適正かつ合理的な活用及び管理運営を考えている。

**塚本議員** 若年者や高齢者にとって現在のままでいいはずがない。「果たして若い夫婦が、今の町営住宅で、人生のスタートをきるだろうか」と思う。町長の考えは。

**山本町長** 住宅に困窮する低所得者を対象に町営住宅を建設し、既存住宅の整備に取り組んでいる。若年者定住促進に伴う住

宅需要増加に対しては、町営住宅の本来の目的から鑑みても検討する。

**塚本議員** 現在、民間の賃貸住宅が増えつつある。家賃が5万円前後と聞く。隣町では、定住促進補助金制度や賃貸住宅家賃助成制度があり人口増加に繋がっていると聞く。民間の賃貸住宅に対して、例えば家賃の3分の1を5年間ぐらい助成するとか、方法を考慮する事も若年者定住促進対策の一助になると思う。町長の考えは。

**山本町長** 御船町においてはこのような間接的な補助金制度は行っていないが今後は財政的なバランス等をしっかり組み立てる中で、どのような政策がふさわしいか十分考えて取り組んでいきたいと思う。定住促進支援は幅が広いが十分考えられる案であり、財政上からも見ていきたい。

**塚本議員** 町の予算は、一般会計と特別会計を合わせて約120億円と思う。毎年100分の1のおおよそ1億2千万円を若年者集合住宅や町営住宅の建設や増改築に当てる事はできないかと考える。そうすれば町民生活のレベルを多少なりとも引き上げる事になると思う。

### 婚活の支援対策は

**塚本議員** 新聞報道などでとりざたされている婚活事業についてであるが、A市では、結婚アドバイザー制度を創設、又O市では経験豊かな住民をお世話志隊に任命。K県が九州新幹線を利用した出会い応援ツアーを開催する等さまざまな取り組みが行われ成果を上げている。本町での支援策は。

**山本町長** 24年度には何らかの対策を取りたい。

**塚本議員** 婚活を支援する為、各市町村同士で提携している市町村もある。是非とも、若者に光を与え、定住を支援する事が人口増加に繋がり、地域の活性化になると考える。若年者定住促進対策を早急に実行される事を希望する。

# Q 子ども医療費、保護者負担の軽減を!

## A 医療機関での窓口負担をなくす方向で検討



一般質問

福永 啓 議員

### 子ども医療費補助は

**福永議員** 現在、御船町の子ども医療費補助は、その都度申請し払い戻しを受けなければならない（償還払い）。他市町村で行なっているように、医療機関での窓口負担を無くす（現物給付）計画はあるか。又、他市町村における子ども医療費補助の現状は把握しているか。

**山本町長** 他市町村の現状に関して調査を指示している。サービスと負担のバランスもあるが、現物給付の方向で早急に進めていきたい。

**藤本保健衛生課長** 県内の市町村について調査し現状は把握している。御船町も中身を検討しながら現物給付の方向に持っていかなければならないと思う。

**福永議員** 現在、上益城郡内を比較すると、御船町は子ども医療費補助の条件が最も劣っている。その理由をどう考えるか。現在、現物給付にしていない理由は何か。

**藤本課長** 財政的問題が大きいと思う。御船町では助成年齢を引き上げてきたので年々子ども医療費補助額は増えている。又、現物給付にすると更に多重受診の懸念もあって、このような状況になっている。

**福永議員** そのような問題は御船町特有の問題ではない。近隣町でも厳しい財政状況の中、御船町より充実したサービスを行なっている。子ども医療費補助は、児童福祉、子育て支援等の観点の他に、子育て世代の定住化促進、ひいては町の活性化につながる目的もあると思う。

**山本町長** 目的については同じ所がある。サービスと負担との関係で非常に悩ましい面もあるが、「健康い

きいき御船町」という目標を掲げ、それに向かって努力しているところなので、ご協力願いたい。

**福永議員** 将来的目標は理解できる。しかし今、町民の方々が困っている事があれば、それを解決していくのが町の役割。仮に、現在の条件のまま、益城町や嘉島町のように外部事務委託をし、子ども医療費を現物支給にしたら、手数料はどれくらいの負担増になるのか試算したか。

**藤本課長** 多重受診による医療費増加も考えられるので、60万円ほど増加するのではないかと思う。

**福永議員** 事務手数料に関しても、他市町村ではいろんな取り組みをして削減している。子ども医療費補助充実、現状の予算内でも十分可能。出来ることを一つずつやるべき。

**山本町長** 関係機関と協議をし、出来ることからやっていきたい。

### 保健センター2階、調理実習室の町民開放は

**福永議員** 一般町民に対して貸し出しているか。

**藤本課長** 一般町民に対し貸し出しを禁止しているわけではない。保健センター設置条例の中に、「町民の健康増進、疾病の予防、保健衛生の向上に資する…」という項目があるので、今までは一般町民に貸し出しはしていない。

**福永議員** 一般町民の方々が、条例の目的に沿った料理教室を開催する場合、貸し出す事ができるのか。

**藤本課長** もし、一般町民の方々から貸し出しの依頼があった場合は、計画書等を検討し判断する。

**福永議員** 小中学校の家庭科教室のように調理台が設置され、調理教室を開けるような場所は、町内で保健センター2階のみ。他町では、同様の条例に基づいた施設を広く町民等に貸し出している。御船町においても規約等を設け、目的に沿った料理教室であれば町民に広く貸し出すべき。

**山本町長** スペースの問題もあるが、使用目的に応じた利用が図れるように内部で検討していく。



男性料理教室で真剣に調理するお父さん

# くるるんと回っている大木町

産業建設常任委員会研修報告

委員 福永 啓

11月30日、12月1日の二日間、産業建設常任委員会で研修を行った。  
場所は福岡県、筑前町と大木町。

## 合併特例債を活かし町づくり

初日訪れたのは、御船と同じ「まちづくり交付金事業」を行なっている筑前町。御船町より1年早く、この事業に取り組んでいる。

この事業は基本的に、町内から今まで寄せられていた数々の要望などを、まちづくり交付金と合併特例債を利用して行う形が中心で、御船町とはやや事情が違っていた。

## し尿から液肥づくり

二日目に訪れたのは大木町の「おおき循環センターくるるん」。

2008年「もったいない宣言」をした大木町が、循環型社会構築を目指しバイオマス関連の交付金など約11億円をかけて建設した施設だ。

生ゴミや浄化槽汚泥、し尿などから微生物を使いガスや液肥を生成している。

ここで生成されたガスは発電機を使い、施設内の電力として供給され、液肥は農家の方々や町民の方々に無料もしくは安価で配布されている。

家庭から出る生ゴミ収集システムも構築され、この施設を建築したことにより家庭ごみの量が40%削減され、ゴミ焼却にかかる費用も年



### 生活排水を100%利用する再生可能な循環サイクル

し尿処理のために回収された排泄物は分離され、固形成分とガス等の成分に分けられ、各タンクに貯蔵される。ガスは施設内に設置されたガスタービン(日立造船の特注製)で発電されていた。

隣接した道の駅には、有機栽培で育てたレタスなどの野菜を活用したレストランも営業されていた。超満員の混み合いで、温かくておいしい料理が並んでいた。

間約4,000万円削減されたとのことだった。

さらに、驚かされたのが、処理施設に併設している農産物直売場とレストランだ。

公園化された敷地内にあるおしゃれなビュッフェレストランは、いつもお客さんでいっぱいだ。

そこで出た残菜も、併設された処理場で肥料やガスとなり、レストランの食卓を再び賑わわせることになる。

「くるるんと回っている大木町」  
私達のふるさと御船町にも、ぜひ取り入れたい考え方だと強く感じた。



し尿処理からエネルギーの発電、肥料の製造までを研修



きれいに整備された公園は、周辺の環境にもマッチする

## 議会運営委員会報告

委員長 田中 隆敏

平成23年12月27日開いた。

まず、平成24年1月会議について審議した。

議案は平成23年度一般会計補正予算が執行部から提出される。請願、陳情はなく一般質問は2人の議員から通告があった。会議は1月17日の1日間と決定した。

次に、今後の一般質問の取扱いについて審議した。

これまで議案の審議採決後に行っ

ていた一般質問を3、6、9、12月に開催される議会について、議案提出の説明後行うことを決定した。

変更の理由は、11月に行った議会運営委員会研修時に池田正夫先生から「一般質問は議員のひのき舞台である。会期の初めに行ったほうが良い。」と指摘されたこと。

また、委員からも、議案によっては一般質問に関連する内容があり全体の審議において議員の質疑が十分に行われないうということもある、との意見もあった。

## 全員協議会報告

12月5日(月)に開いた。

御船小学校改築工事解体工事の入札についての談合疑惑で、公正取引委員会へ調査依頼していた報告があった。内容は私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律の規定に基づき調査したが、現段階では独占禁止法上の問題にするには困難であった。なお関連する情報が更にあったら寄せるようにとの趣旨であった。

## 新人研修

# 新人議会議員の

# 心構えとは！

永山 和人

12月16日に議会の使命と議員の職責と題して、前回の議会運営委員会研修会の講師(あおぞら21・No.58号参照)の池田正夫先生から、再び解りやすいが手厳しいご指導をいただいた。

一般質問のあり方については、要点を明確にして的確に行政に問うということ。

研修受け入れや視察研修の意義については、その成果が町政町民の為に生かされているのか。

又議会運営に係る経費はそれに値する成果を、議会は成し遂げているのか。等々約2時間半の有意義な勉強会であった。参加したすべての新人議員が得たものは今後町政に活かされていくと確信する。



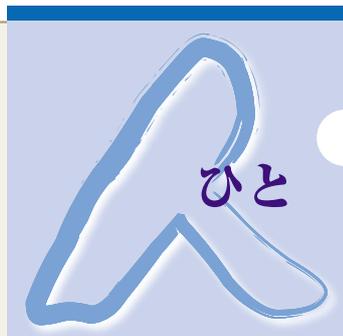
研修を終えて(ホッ!!) 前列左から2人目が池田先生



池田正夫先生 新人議員に議会の使命を伝授

## 12月の議会の動き

- 1日 産業建設常任委員会研修
- 2日 議会改革推進特別委員会  
広報編集常任委員会
- 5日 全員協議会
- 8日 議会  
広報編集常任委員会  
民生文教・産業建設常任委員会
- 12日 議会
- 16日 新議員研修
- 20日 視察受入れ  
(宮城県大和町議会・  
鹿児島県出水市議会)  
議会改革推進特別委員会
- 27日 議会運営委員会



# 御船町を見ていますか!?

昭和41年、県内で4番目の児童施設「明星学園」をこの御船町に設立、また、昭和54年には成人施設「第二明星学園」を併設しました。46年間にわたり町当局や地域住民の方々のご理解とご支援のもと、知的障がい児者福祉を主に、地域福祉の核となるべく専念して参りました。その恩返しのため、微力ながら様々な町の審議会や委員会、審査会、運営協議会等のお手伝いをさせて頂いてまいりますが、町当局や町議会、様々な部局や担当職員、各種団体や個人の方々の躍動は目を見張るものがあり、今後の御船町の発展に期待するところです。

しかしながら一方で町民の中から「町は何をやっているんだ、政策がない、活気がない、町民の状況や真意がわかっていない」等、叱咤激励の言葉を聞くこともしばしば。素晴らしい政策がたくさんあるにも拘わらず、このギャップは何処から生まれるのでしょうか。

一つにPR不足、発信不足でしょうか。町民の方々にももっと分かりやすく、もっと細かく、もっと頻繁に、あらゆる機会と場所を捉えて伝えてほしいですね。

そして、町民の方々が御船町を見よう、知ろうとしているのでしょうか。回覧板や町広報誌、議会広報誌等の情報を見えますか。学校行事や地区行事、町の行事等に参加していませんか。隣保組や小組合、校区や区町の一員として何らかの活動・協力等を行っていますか。

誇りを持ち、働き、生活する町につくりあげていく創造力は、固有の歴史や文化・自然を大切にすることは、町民一人ひとりが町に関心を持つことから始まります。町行政や町議会を見つめることから始めましょう。



小坂 山崎 雅之 さん

## 消防出初式・成人式で議長が祝辞

1月8日9時から若宮堰ふれあい公園にて御船町消防出初式が行われた。消防団員が整列するなか消防音楽隊のファンファーレが幾度も鳴り響き、新春の河川敷に爽やかな風が流れた。町議会からは議長以下全員が出席して出初式を見守った。式典では岩田町議会議長が日頃の安心・安全の見守りに対しお礼を述べた。

1月8日11時から御船町カルチャーセンターにて御船町成人式が行われた。今年の成人は232名(当日の出席者152名)、町議会からは議長以下全員が出席して成人の門出を祝った。成人式第一部で岩田町議会議長が祝辞を述べ、第二部は成人者実行委員会自主運営により七滝中学校・御船中学校の恩師を迎えて笑いあり涙ありの思

い出に残る成人式となった。



私達も大人の仲間入り

議会の予定 2月	1日 九州中央自動車道提言活動(～3日)	14日 民生文教常任委員会研修(～15日)
	視察受入れ(京都府久御山町議会・大分県由布市議会)	17日 佐賀県杵藤地区町村議会研修
	8日 視察受入れ(大分県九重町議会・鹿児島県南大隅町議会)	22日 視察受入れ(長崎県東彼杵町議会)
	10日 議会モニター・アドバイザー合同会議	

委員長	岩田 重成
副委員長	山上 忍
委員	佐藤 俊明
委員	田中 隆敏
委員	永山 和人
委員	増田 安至

### 議会広報編集主任委員会

この1月号は、12月に開催された予算審議が中心となる内容だ。池田先生の言葉を借りると、物事の本質を捉えるには、日頃から「勉強」が必要である。自分の仕事について、説明責任があるから尚更となる。今年は4回目の年男である。これまでに以上がんばるぞ。(増田 安至)

以上が、昨年12月16日に元鹿児島県御船町議会議長会事務局長の池田正夫先生から新人議員に指導を受けた時の所感である。非常に明瞭な説明と毅然とした態度は、見た目以上に若い印象を持った。(実年齢は86歳との事でした。)

### 編集後記

- ① 議会で「お願いします」という発言はしてはならない。
- ② 一般質問の時の通告書は、稚拙であってはならない。
- ③ 二元代表制の意味を理解し、議員と議会の役割をしっかりと認識すべきである。
- ④ 予算編成は十分な調査が必要で、日頃から執行部に質問すべきである。
- ⑤ 議員は今以上に勉強すべきであり、物事の本質を捉える努力を怠ってはならない。